

# とびひのいろいろ

とびひは皮膚の表面にブドウ状球菌や連鎖状球菌が増殖しておこる子供に多い感染症です。最初の原因は虫刺され、すりきず、ひっかききずなどですが、分泌物によって容易にほかに広がります。多くの場合適切な治療で治りますが、まれに重症化することもあります。自己判断による勝手な治療をしないで、皮膚科専門医にご相談下さい。



## 典型的なとびひ



水疱からただれ、かさぶたになります

## 鼻腔が感染源のことが多い



## 溶連菌によるとびひ



まれに腎炎を起こすことがあります

## 新生児のとびひ



## やけど状になった激しいとびひ (ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)



入院治療が必要です

## 日常生活上の注意事項

1. 虫刺されやすり傷などは早めに治しましょう
2. 爪を切り、手洗いを励行しましょう
3. 鼻をいじらないようにしましょう
4. 患部は石けんでよく洗い流しましょう
5. 何度もかかりますが、成長するにつれてかかりにくくなります

## 子供からうつった大人のとびひ



## とびひとまちがしやすい病気(治療法が異なります)



ヘルペス(ウイルス)



カンジダ症(かび)



やけど虫皮膚炎  
(アオバアリガタハネカクシ)



いい ひふ  
11月12日は皮膚の日です